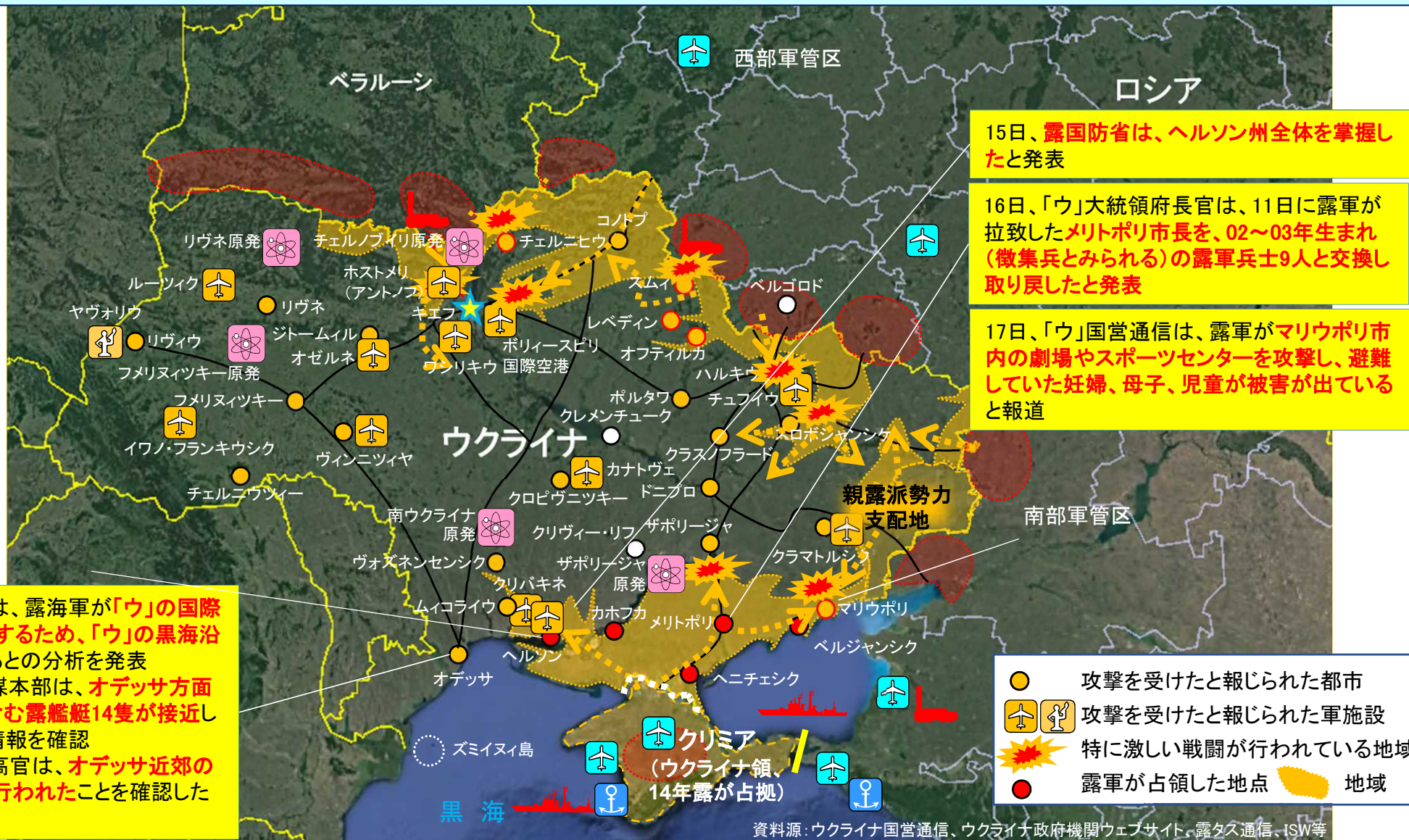


ロシアによるウクライナ侵略の状況 (2022年3月18日時点)

- 現在、露軍は、「ウ」軍・市民の抵抗により、キエフ、ハルキウといった大都市の占領には成功していないものの、攻勢を継続。市街地・住宅地へのミサイル・多連装ロケットによる攻撃を強化し、「ウ」一般市民の犠牲者が増加
 - ・ 一方でクリミア方面から侵攻した部隊が「ウ」南部一帯において占領地を拡大
 - ・ これまで比較的攻撃の少なかった「ウ」西部においても、軍事施設に対するミサイル攻撃等が激化
- 「ウ」軍発表の露軍損耗は、人員約1万4千人、戦車444両、装甲戦闘車両1435両、固定翼機86機、ヘリ108機



15日、露国防省は、ヘルソン州全体を掌握したと発表

16日、「ウ」大統領府長官は、11日に露軍が拉致したメリトポリ市長を、02～03年生まれ(徴集兵とみられる)の露軍兵士9人と交換し取り戻したと発表

17日、「ウ」国営通信は、露軍がマリウポリ市内の劇場やスポーツセンターを攻撃し、避難していた妊婦、母子、児童が被害が出ていると報道

- ・ 13日、英国防省は、露海軍が「ウ」の国際海上貿易を遮断するため、「ウ」の黒海沿岸を封鎖しているとの分析を発表
- ・ 16日、「ウ」軍参謀本部は、オデッサ方面に揚陸艦5隻を含む露艦艇14隻が接近しているとの報道情報を確認
- ・ 16日、米国防省高官は、オデッサ近郊の町に対し砲撃が行われたことを確認したと指摘

資料源: ウクライナ国営通信、ウクライナ政府機関ウェブサイト、露タス通信、ISW等